

## 令和6年度 第1回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年11月25日(月)  
開会：15時00分 閉会：16時00分
- 2 開催場所 山北町役場 401会議室
- 3 出席者(敬称略)
  - (1) 委員 6名  
山北町長 湯川 裕司  
山北町教育委員会教育長 水野 博文  
山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次  
山北町教育委員会委員 小菅 正子  
山北町教育委員会委員 今村 敏雄  
山北町教育委員会委員 佐藤 直美
  - (2) 事務局 3名  
参事兼企画総務課長 井上 茂明  
企画総務課副主幹 高橋 和久  
企画総務課副主幹 瀬戸 靖
  - (3) オブザーバー 2名  
こども教育課長 池谷 栄  
生涯学習課長 畠山 佐和子
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議概要
  - 1 開会 参事兼企画総務課長
  - 2 町長あいさつ 湯川町長
  - 3 教育長あいさつ 水野教育長

#### 4 議 題

##### (1) 地域と学校の連携・協働について

湯川町長	それでは、議題（1）地域と学校の連携・協働について、教育長から資料の説明をお願いしたい。
教育長	～ 資料により説明 ～
湯川町長	現状、コミュニティ・スクールを進める中で、何か課題はあるのか。
教育長	小中学校からコーディネーター配置の要望がある。
湯川町長	それについては、今後の検討課題とするが、コミュニティ・スクールを進めることにより、学校の課題が解決できれば良いと思う。 その他にご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。 ※意見・質問等なし。

##### (2) 教育の諸課題について

湯川町長	それでは、議題（2）教育の諸課題について、委員の皆様から何かあれば発言をお願いしたい。
野地委員	川村小学校の改修工事について、今後の少子化を見据えた大規模改修の計画はあるのか。また、移住者を受け入れて、少子化解消を図れるような改修工事も必要と思うがどうか。
教育長	現在、長寿命化工事を進めているが、教室を多目的に使えるような改修も考えているところである。
湯川町長	少子化に合うような改修を進めていくとともに、移住者を呼び込むことができるような改修も必要である。
野地委員	0歳から5歳児年齢別の人口推移をみると、川村小学校も4年後以降には、1学級になってしまう学年が出てくる。教室は、多目的に使えるよう、余裕をもった教育環境に改修するとともに、そうした取組を情報発信することも必要だと思う。
湯川町長	教室の壁を全て取り除くことは、難しいと思うが、扉などでつなぐことはで

きると思う。

佐藤委員 町でも、山北町の子育てが魅力的と思われるような部分をPRして、移住者を増やすような、将来に向けた取組を考えてもらいたい。向原保育園の移転のように、未来の子どもたちに向けた取組をお願いしたい。

小菅委員 向原保育園は、現在の施設も特徴があって良いと思うが、老朽化が進んでおり、空調の面でも子どもたちにとって良い環境とは言えない。また、今後の子どもの数を考えると、園としての必要性にも疑問がある。

今村委員 教育面で特徴的なところが無ければ、単に施設改修しても山北への移住を促すことは難しい。

湯川町長 昔、私がPTAの役員をしていた頃、少し意外だったことは、皆、ソフト事業よりハード事業に関心があったことだ。しかし、ハード整備だけでなく、こうした考えのもと教育を進めていくということが、しっかりと伝わらないといけない。

現在、向原保育園の建て替えを検討しているが、今後の子どもの数を考えると、1園にまとめた方が良いのか、あるいは現状の3園で良いのか。

小菅委員 大部分の園児は、車の送迎で通園するので、駐車場がしっかりと確保できれば1園でも良いと思う。また、園によって上の学校との連携が異なっているので、そのことが解消できるような立地が望ましい。

野地委員 園の設置については、効率性だけでなく地域との関わり合いの重要性についても、考えるべきである。子どもの数が減ることは間違いないが、幼稚園教育と保育は異なり、幼稚園教育は残さないといけないと思う。

湯川町長 山北町の教育は、0歳から15歳まで公立の園・学校で行っているなので、その部分を生かしていきたい。また、英語教育に力を入れている茨城県境町のよう、英語は園児の頃から進める必要があると思っている。

野地委員 本年度の川村小学校の特別支援学級については、人数からすると規定では2名で対応することになるが、先生の負担を考えて支援員の増員を考えて欲しい。また、図書室の利用を促すために、司書を配置することはできないか。

小菅委員 図書に深い知識を持った司書が、利用者に合った書籍を紹介できるような体制づくりが望まれる。

湯川町長 支援員の必要性は認識しているが、予算や資格などの問題もある。  
生涯学習センターの図書室も以前よりは、改善されてきたが、視察した栃木県茂木町の図書室は、部屋のづくりも凝っており図書も充実していた。

佐藤委員 山北町では、バリアフリーや人権のまちづくりを進めている中で、生涯学習センターのステージに登壇するのに、階段しか無いのは疑問であるが、何か改修計画はあるのか。

教育長 今後は、そのことも視野に入れて、施設改修を進めていきたい。

佐藤委員 川村小学校では、雨の日に子どもを送迎する車両で大変混雑するので、安全対策を検討願いたい。

## 5 その他

事務局 事務局より事務連絡をさせていただく。次回の会議については、年明け2月下旬を予定しており、別途通知させていただく。

## 6 閉会 参事兼企画総務課長

以上